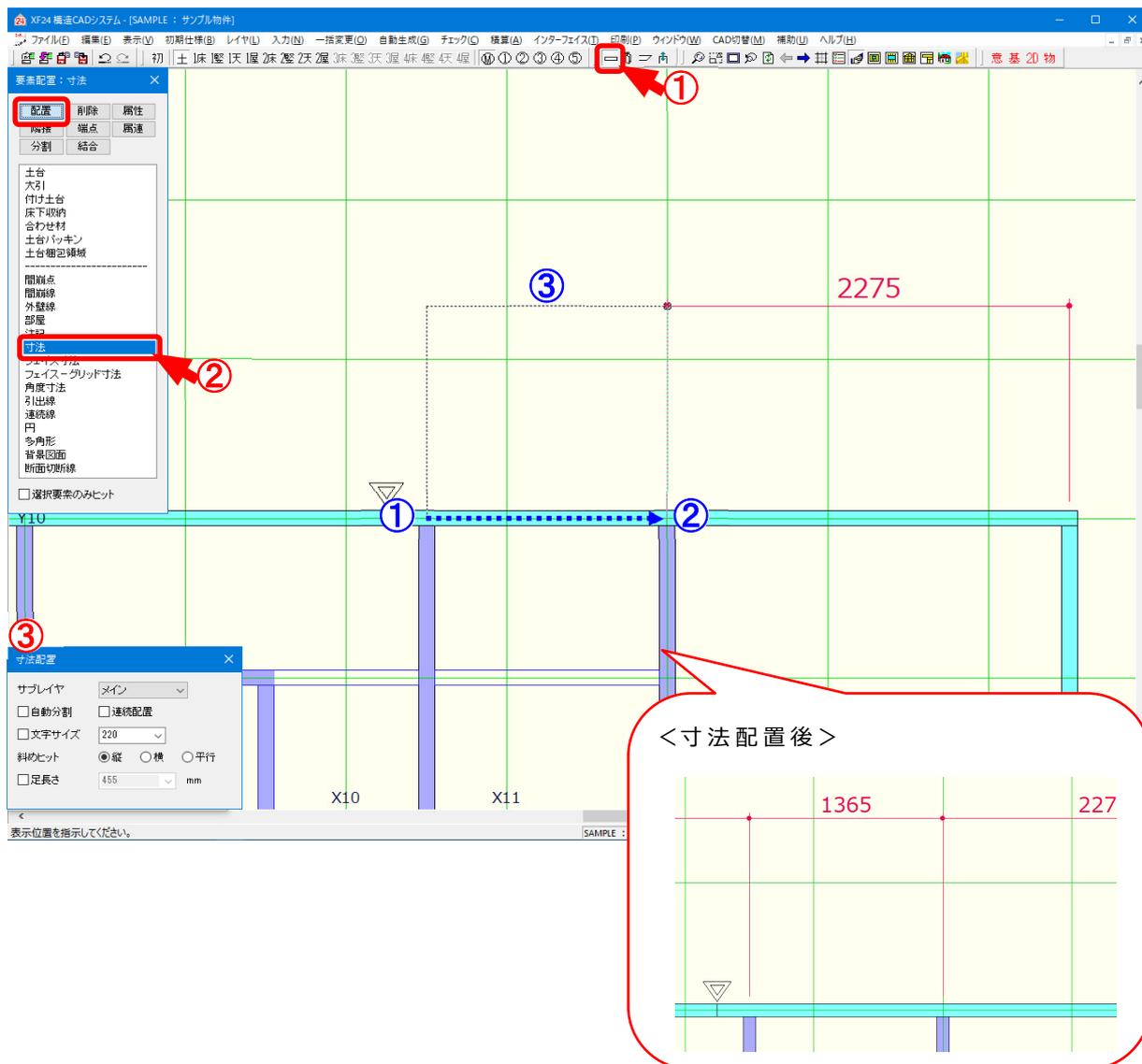


入力—要素—配置／寸法



配置／寸法では、寸法を測定します。

- ①  をクリックするか、[入力—要素]をクリックします。
- ② 「要素」の画面が表示されます。「配置—寸法」をクリックします。
- ③ 「寸法配置」の画面が表示されます。
 - ・サブレイヤ：寸法を配置するサブレイヤを選択します。
全サブレイヤかメイン～サブレイヤ5のレイヤを指定して配置します。
 - ・自動分割：チェックをつけると、部屋線上に寸法を配置した際に部屋で自動分割されます。
 - ・連続配置：チェックをつけると、寸法の範囲を連続して指定し、最後に寸法の表示位置を示して寸法を配置します。

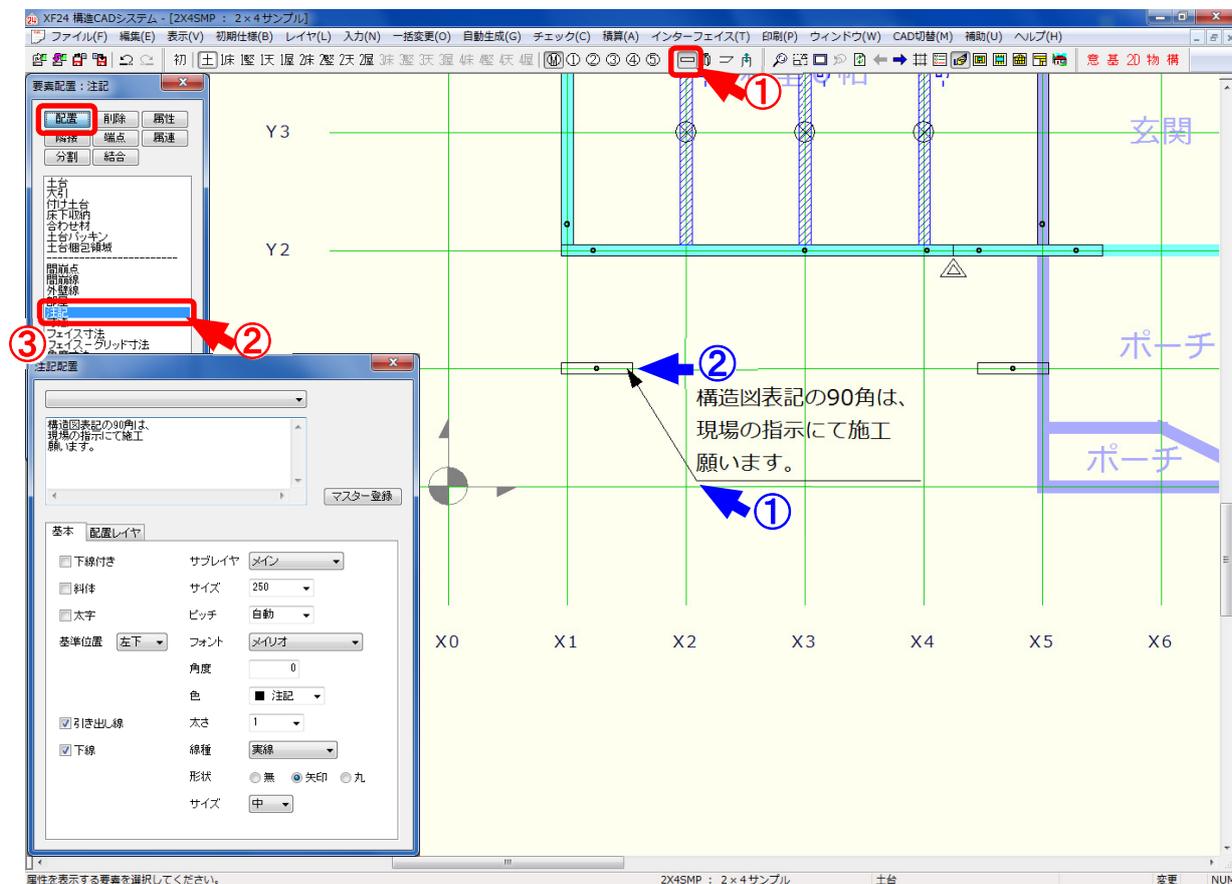
入力要素配置／寸法

- ・文字サイズ：チェックをつけると、寸法の文字サイズを指定して配置できます。
寸法の文字サイズを選択または直接入力で設定します。
〔補助－マスター編集〕の「メニューファイル－寸法文字サイズ」で設定した寸法文字サイズが選択できます。
チェックをつけない場合は、〔補助－マスター編集〕の「パレット設定－伏図画面－（仕様名称）－その他－寸法」で設定した文字サイズで配置されます。
 - ・斜めヒット：寸法の計測方向を選択します。
 - ・足長さ：チェックをつけると、寸法の足長さを指定して配置できます。
足長さを選択または数値を直接入力で設定します。
〔補助－マスター編集〕の「メニューファイル－寸法足長さ」で設定した足長さが選択できます。
- ④ ①～②点で寸法の範囲を指定し、③点目で寸法の表示位置を指示します。
- ※ ③点目で寸法の表示位置を決める際、Ctrlキーを押しながら配置すると、グリッド拘束無しで寸法の引き出し位置が指定できます。
 - ※ ③点目で寸法の表示位置を決める際、既に配置された寸法の端部を指示することもできます。



配置した寸法は、〔入力－要素〕の「属性－寸法」で文字位置や端部形状等を変更できます。

入力—要素—配置／注記



配置／注記では、伏図に注記の入力を行います。

- ①  をクリックするか、〔入力—要素〕をクリックします。
- ② 「要素」の画面が表示されます。「配置—注記」をクリックします。
- ③ 「注記配置」の画面が表示されます。
「基本」のタブで配置する注記の設定を行い、注記文字を入力します。
※ 注記文字は複数行入力できます。
- ④ 「引き出し線」にチェックをつけた場合は、①点目で注記の基準位置を指定し、②点目で引き出し線の先端の位置を指定します。
Ctrlキーを押しながら配置すると、グリッド拘束無しで配置できます。

入力要素配置／注記

<注記配置画面>

太字で注記を配置します。

注記 1
注記 2

斜体で注記を配置します。

注記 1
注記 2

下線付きで表示されます。

注記 1
注記 2

下線が表示されます。

注記 1
注記 2

引き出し線付きの注記を配置します。

注記 1

注記配置時の基準位置を指定します。

- 左下基準
- 中央基準
- 右下基準

注記 1
注記 2
注記 3

注記 1
注記 2
注記 3

注記 1
注記 2
注記 3

〔補助－マスター編集〕の「メニューファイル－注記リスト」に登録された注記文字を選択します。

選択した文字を注記配置できます。

入力している注記文字を、〔補助－マスター編集〕の「メニューファイル－注記リスト」に登録します。

注記の配置レイヤを全サブレイヤ～サブレイヤ5まで選択できます。

注記文字サイズを選択または数値を直接入力で設定します。

〔補助－マスター編集〕の「メニューファイル－注記サイズ」に設定したサイズが選択できます。

注記文字の行間隔を選択または数値を直接入力で設定します。

〔補助－マスター編集〕の「メニューファイル－注記ピッチ」に設定したピッチが選択できます。「自動」を選択すると、行間が自動調整されます。

注記のフォントを選択します。

配置する注記の角度を直接入力で設定します。

注記の色を選択します。

注記の太さを選択または数値を直接入力で設定します。

下線、引き出し線の線種を選択します。

引き出し線先端の形状を選択します。

引き出し線先端の形状のサイズを選択します。